



今年度の職場実習を振り返って



保護者の皆様、関係機関の皆様、並びに地域の皆様におかれましては、今年度も本校支援部の活動にご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

本校の職場実習は、1年生のグループ実習から3年生の秋の実習まで、ほとんどの生徒に6回実施します。今年度の3年生も、1年生の秋から5回同じ実習先で取り組んだ生徒、毎回異なる実習先で学びを深めた生徒、追加実習を行った生徒など、一人一人異なる歩みを重ねてきました。いずれの生徒も、職場の皆様との出会いを大切に、多くのことを学び、その成果を卒業後の進路決定へとつなげることができました。

職場実習で学んでほしいことは、働くことの意味、社会人としてのマナーや言葉遣い、自分の得意・不得意の理解など多岐にわたります。その中でも特に、「自分自身の課題に気づき、学校に戻ってきてほしい」という思いがあります。課題を知ること、日々の生活の中で意識して学習に取り組み、さらに成長することができるからです。生徒の皆さんには、自らの課題に向き合い努力を続け、社会でしっかりと働くことができる人へと成長してほしいと願っています。

今後も保護者の皆様と力を合わせ、生徒一人一人が希望する進路を実現できるよう支援してまいります。引き続き、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

支援部部長 庄司竹弥



進路講話



【1学年様子】

1学年の進路講話は2月19日に実施されました。今回の進路講話は、進路が内定した3学年の5名の先輩が快く務めてくれました。全体会では、これまでの職場実習で学んだことを中心にお話していただきました。身近な先輩のお話をしっかりメモをとりながら、みんな真剣な眼差しで聞いていました。分科会では、5つのグループに分かれて、少人数で先輩を囲み、あらかじめ考えていた質問に、分かりやすく丁寧に答えてもらいました。



部活などで身近な先輩のお話と、自分の進路を結び付けて考えることができたようです。また、講師の先輩の一人は「後輩たちが真剣に聞いてくれてとってもうれしいです。」と感想を語ってくれました。

【3学年の様子】

3学年は卒業後2年目の先輩を講師に招きました。

実際の現場での体験談や在学中に身に付けておくと良い力など、今後につながる内容のお話をいただきました。もうすぐ卒業して社会人となる3年生には、「岩沼高等学園で学習したことは仕事に活かせる」こと、「就労は実習と違って期限がないので、体力と礼儀が大切」「責任が伴う」とのアドバイスを頂きました。

そして、社会人として一番大切なことは「周りの方からの信頼を得ること」「コミュニケーションの一環で挨拶が大切」と力強くお話頂きました。



先輩から在校生に受け継いでいく取り組みについて、今後も継続していきたいと思います。講師を派遣してくださった企業様をはじめ、講師を務めていただいた卒業生に深く感謝いたします。

【各種お問い合わせ・教育相談の申し込み】 岩沼高等学園本校 担当 主幹教諭 相澤
住所 〒989-2455 岩沼市北長谷字豊田1-1 TEL 0223-25-5332